

研修医のコーナー

不安解消には日々の修練

早いもので1年間の研修が終わった。初めは何をすれば良いかもわからず、ただただレジデントの先生の後を追っているだけだった。カルテの使い方も分からず処方も出せない、指示の意味がわからない、必要時とは何のことかと、とまどうことばかりだったが、1年経てば慣れるもので出来ることが多くなると楽しくなってきた。書類を書くなどの雑多な業務も多いが、患者さんの病態に応じて治療法を考え、その治療で症状が改善していくのを見ているとやりがいを感じる。当初思っていたよりも楽しめていることには自分自身も驚いている。そうは言ってもまだ1年しか経っていない。最初に比べると仕事はできるようになったとは思いますが、それは知識が増えたというよりは病院のシステムに慣れたという面が大きいと思う。さらに、現在の研修医という立場は基本的に上級医が付いてくれている。来年からは指導する立場になると考える

JCHO九州病院 荒木 大幸

と、まだまだ力不足である。不安ではあるが、その不安を解消するには日々の修練を積み重ねるしかない。この1年間はそういう自覚を持って取り組みたい。

そんな中で休日も充実させたい。休みという休みはほとんどないが、働く前に想像していたほどはないなという印象だった。むしろたまの休みで遠出しようものなら大変で、なかなか休みボケが抜けない。そんなことなら最初から休みなんて無い方が良いとさえ思ってしまうほどである。休みの日にだらだらと仕事をしている癖が付いてしまっているのは非常に良くない。仕事と休みのメリハリを付けて要領よくこなすことを意識していきたい。

これまでの1年間よりも、これからの1年は早く過ぎるだろう。1年後に振り返ってみて何も残らないような年にはしたくない。